

市民が企画する勉強会の効果

2022年度

上田リバーズ会議

～みんなで考える

“持続可能な上田”のつくりかた～

全7回

猛暑、集中豪雨、巨大台風、雪不足……。上田に住みながら気候変動の加速を実感する時代。2030年までのCO2削減量が地球の未来を決定します。今年度上田市はゼロカーボン戦略を策定中。同時並行で市民もゼロカーボンについて学び対話しましょう。

ゼロカーボンはまちづくりです。上田リバーズ会議はこれまで「持続可能な上田をみんなで作るために、立場の垣根を越えて対話を積み重ねてきました。今年度第1～4回はまちづくりの視点でゼロカーボンを取り上げます。

CO₂
ゼロ

参加対象

上田市内で居住
通勤、通学、事業活動、市民活動をしている方

主催 上田ビジョン研究会 NPO法人上田市民エネルギー 一社)NECO

共催 上田市(由議中)

第1回 8/19(金) :18:30～21:00 オンライン開催

ゼロカーボンを実現した上田ってどんなまち?

講師 田中 信一郎さん(千葉商科大学基盤教育機構准教授)



第2回 9/27日(火) :18:30～21:00 上田映劇&オンライン

2050ゼロカーボン 上田への道

講師 茅野 恒秀さん(信州大学人文学部准教授)



第3回 10/11(火) :18:30～21:00 上田映劇&オンライン

とはいえゼロカーボン、できない理由をあげてみよう!

第4回 10/25(火) :18:30～21:00

上田映劇&オンライン

みんなのゼロカーボン会議うえだ

第3回第4回アドバイザー 田中 信一郎さん・茅野 恒秀さん

2022年度 ゼロカーボンを学ぶ4回シリーズ

<認識を書き換え>

脱炭素ってがまんでしょ? ⇒炭素文明は決して豊かではない。ゼロカーボンした社会は平等で平和でみんなが豊かに。

<地域の施策と削減目標>

わたしたちはどのくらいCO2を出している? 地域でしかできない脱炭素施策あれこれ。え? 脱炭素って福祉政策なのか!

<できない理由を言ってい『できないメソッド』>

出るわ出るわできない理由⇒できない理由の理由は? 背景は? を繰り返せば、できるためのカギが見えてくる。

<市長も参加のシンポジウム>

パネリストは脱炭素に熱心な地元企業、工務店、大学生、NPO。もう地域にも本気で動いている人たちがいる。

上田リバーズ会議は レクチャーと対話で構成

- 1、参加者同士3～4人で1人1分の自己紹介(場があたたまる)
- 2、外部講師のレクチャー(よその人がいい、選定が重要)
- 3、さっきの3～4人で感想の共有(対話)
- 4、グーグルフォームで質問を受け付ける(匿名)
- 5、質問をネタに講師とディスカッション

自治体職員も市民

一緒に学ぶ

向かい合のじゃなくて机を並べてみる
市役所業務は忙しく勉強する時間をもちにくい
きっと勉強会はありがたい

対話が効く

自分ごとになる・共感を生む・仲間になれる

市民は高い目標に賛同する

というメッセージが伝わる会に
アンケートも活用

2023年度 第2回
上田リバーズ会議
～みんなで考える
"持続可能な上田"のつくりかた～

参加
無料
要予約

Walk Bicycle

公共交通に乗りたくなくなって
リバーズ!

Bus Train Car?

2023年
7月31日(月)
18時～20時30分

会場
上田市役所5階大会議室
定員 80名
オンライン 定員80名

ゲスト
谷口綾子さん
筑波大学システム情報系
社会工學域教授

バスや電車に乗ろうかな
自転車で行こうかな
歩くのいいよね

自家用車ちょっと控えようか、
と、人々が自然にそうしたくなる手法のあれこれ
これが『モビリティマネジメント』
きょうからできる公共交通と自転車と徒歩で
暮らせるまちのつくり方のはじまりはじまり。

講師はモビリティマネジメントの第一人者
筑波大学の谷口綾子教授に伝授してもらって
住んでいるまちでやってみましょう。

7月31日(月)18:00～20:30
上田市役所5階大会議室にて
オンライン傍聴あり

例えば・・・

